

JTA Journal

ジャーナル

July 2022 No. 29

巻頭言



ものづくりの未来を創る

理事

若林 謙一

2021年8月2日、当社 日本電産マシンツール株式会社は、三菱重工業株式会社から工作機械と工具事業が日本電産株式会社に譲渡され、日本電産グループの一員として新たなスタートを切りました。当社には二つの前身会社があり、それぞれ、1939年に広島、1944年に京都で創業し、その後工場や事業の再編を経ながら約80年の歴史を刻んで参りましたが、日本電産グループ入りはこれまでにない歴史的変革でした。この大きな変化点は、私たちにとってこれまで培ってきた文化や考え方、仕事の進め方等々、変えてはいけぬものと変わらなければならないものを見つめ直す大切な時期となりました。

大きく考え方を変えた一つに「営業が機関車となって調達・設計・製造を引っ張っていく！」があります。これはお客様の代弁者である営業が、お客様のご要望にお応えするために技術部門や製造部門を引っ張って、技術的課題の解決や納期短縮などを何としてでも実現させるというものです。この考えを受けて、お客様が何を望んでおられるのかを把握するための活動として、営業マンがお客様を月に100件訪問する“100件訪問”を始めました。最初の頃はなかなか目標に近づけませんでした。数ヶ月もすると営業マン全員が月100件を達成するようになり、お客様の生の声やリアルな情報が数多く入ってくるようになりました。また、私も今まで以上にお客様を訪問して直にお話をうかがうと「こんなことはできないか。これで困っている」などの課題や「仕事を広げたい。新しい事にチャレンジしたい」など夢や本音を語っていただくことがあります。このようなお話を聞いたときに、これまでお客様に寄り添い課題解決をしてきたはずなのに、そうではなかった、活動量が足りなかったことに気づかされ、メーカーとしてもっとお客様の実現したい事や夢を叶えたい、全員が知恵を出せばお客様の望みを叶えることができると改めて思いを強くしました。

私たちは“営業の機関車化”“100件訪問”を通して改めて気付かされた「お客様としっかりと向き合う」というメーカーとして根源的なことを銘記し、まずはメーカーとユーザーが出会う所から始め、お客様の課題や夢を把握して、それを何としてでも実現させるものづくり企業であり続けたいと考えています。私たちが目指すものは「ものづくりの未来を創る」こと。ものづくりに携わる企業や人が描く未来を、お客様との多くの出会いを通して、共に考え実現して参ります。

今年は4年ぶりに日本国際工作機械見本市 (JIMTOF) がリアルで開催される予定です。ライバル同士の切磋琢磨、機械と工具のベストマッチング、DX・AIなどのデジタルや通信技術、はたまたこれまで全く体験したことのないものの登場など、新しい出会いが大いに生まれる場になると期待しています。このような機会を通して、日本機械工具工業会の皆さまとともに、業界の持続的な発展を、そして“ものづくりの未来”を一緒に創り、盛り上げていければと存じます。

最後に、今回、巻頭言という貴重な機会をいただき、また私の駄文に最後までお付き合いくださいましたこと、厚くお礼申し上げます。

(日本電産マシンツール株式会社 代表取締役社長執行役員)

令和4(2022)年度定時総会



定時総会会場

6月7日、第8回定時総会がアーバンネット大手町ビル「東京會館」にて開催された。コロナ禍のため、昨年引き続きリアルおよびオンラインのハイブリッド方式での開催となった。



挨拶 田中会長

始めに田中会長より「昨年度の我々を取り巻く環境は、断続的な緊急事態宣言の発出や、まん延防止等重点措置の実施で、ほぼ1年ウィズコロナの生活を余儀なくされた。加えて半導体部品の供給不足、輸送コストの増加、資源エネルギー価格の高騰など向かい風が吹いていたが、当工業会の生産高は比較的堅調に推移し、2021年度は年間4,711億円と対前年度比128%で、コロナ前2019年度の4,699億円を若干上回る結果だった。本年秋には4年ぶりにJIMTOFがリアルで開催される予定で、いよいよ我々ものづくり産業も活気づく1年になると期待している。正会員の皆様に対するアンケート調査を基にした今年度の生産額見込みは前年同期比101.3%の4,771億円となった。内需、外需ともに増加の見込みで、特に上期は比較的堅調な米国経済と内需の回復に期待が寄せられている。一方、米国金利上昇に伴う先行きの不透明さやロシア・ウクライナ問題の長期化懸念に関連した資源不足・価格高騰、中国ロックダウン政策の影響等を指

摘する声も多くみられた。このような中、我々がこれから取り組んでいかなければならない課題は次のようなものがある。1点目はサプライチェーンの強靱化である。経済・社会生活が再開する中、世界各国で納期遅延などの障害が深刻化している。日本では中長期的に海外からの部品調達の比率を高めつつ、調達先を集中するサプライチェーンが構築されてきた。災害や地政学リスク等を回避するため、調達先の分散や国内生産への回帰も検討

が必要となってきたのではないかと。さらに、サプライチェーン全体の環境、人権保護に取り組むことが必要。2点目はデジタル化や脱炭素関連投資を通じ成長力を高めていくこと。デジタル投資の効果を高める人への投資も注力していくことが重要。今年5月に経済産業省より人的資本経営の実現に向けた検討会報告書『人材版伊藤レポート2.0』がリリースされ、人的資本経営に対する議論も活発化しており、我々としても取り組みの加速が必要と考える。当工業会としても会員企業の皆様の企業価値向上に向けた取り組みを、しっかり支援していきたい」と挨拶があった。

経済産業省製造産業局産業機械課からは安田課長、川内課長補佐、蝶野係長に来賓として来場いただき、安田課長より挨拶並びに「経済安全保障推進法」「特定技能外国人材制度



来賓挨拶 経済産業省 安田課長

の現状」「クリーンエネルギー戦略」「水際措置緩和の概要」「ロシアへの経済制裁措置」についての説明があった。

その後、田中会長が議長となり議案審議に入った。第1号議案の一般社団法人移行に関する承認を求める件は大石事務局長より概要説明があり、承認可決された。第2号議案の2021年度事業報告並びに決算に関する件は関口専務理事より説明があり、小笠原監事(株)小笠原

プレジジョンラボラトリー)による監査報告のあと、承認可決された。第3号議案の2022年度事業計画に関する件では、政府の実施する経済振興・助成策等公的施策の情報収集と会員への情報伝達の迅速化と徹底、本年度の重点実施事項、各委員会・地区会員連絡会の実施計画、関連団体との連携、広報活動の充実、会合の開催・参加について説明があり、承認可決された。第4号議案、第5号議案では2022年度会費および収支予算について説明があり、承認可決された。

次に、報告事項に移り各委員会から以下の活動報告がなされた。小谷総務委員長(三菱マテリアル(株))からは、第2期統計システム、事務局体制の整備、一般社団法人化、今後の取り組みについて説明があった。上坂技術委員長(住友電工ハードメタル(株))からは、2021年度活動内容と、ISO関連、2021年度技術功績賞の選考、



小谷総務委員長



上坂技術委員長



石田環境委員長

各専門委員会の活動について説明があった。石田環境委員長(オーエスジー(株))からは、環境調査票の提出状況および調査結果、環境活動交流発表会の開催、環境製品基準評価委員会の活動、化学物質規制対応WGの活動について説明があった。最後に、WEB参加の浦本国際委員長(株不二越)から海外展示会(EMO2021ミラノ)、インド・ASEAN地区最新情報講演会の実施、会員各社の海外進出サポートの新たな活動の模索について説明があった。次に、関口専務理事からは2022年度生悦住賞受賞者の功績紹介、新庄(陰徳の士)賞受

賞者の紹介、2022年度当初生産額見通し、2022年度主要スケジュールについての説明があった。関口専務理事は本総会を以って退任されるため、終わりに引退の挨拶があった。最

後に佐橋副会長は総括で「10月の一般社団法人化に向けて着々と準備を進め、より業界の繁栄に努めてまいりたい。今年もまだまだ混乱の続く社会だが、本日の総会で紹介した方針をしっかりと運営し、皆様のお役に立ちたいと考えているので、更なるご支援とご協力を賜りたい」と述べられ、総会は閉会となった。

休憩後、生悦住賞・新庄賞受賞者の表彰式、生悦住賞受賞者の田島氏、伊藤氏の謝辞があり、その後、2019年度秋季総会以来の開催となった懇親会は田中会長の挨拶、山本副会長の乾杯のご発声で開宴した。ソーシャルディスタンスを守りながらも終始和やかな雰囲気、リアルコミュニケーションの重要性を実感できる機会となった。歓談後、寺島副会長の中締めにより閉会した。



総括 佐橋副会長



乾杯 山本副会長



中締め 寺島副会長



懇親会会場

令和4 (2022) 年度生悦住賞・新庄賞受賞者紹介

生悦住賞

ダイジェット工業(株)故生悦住貞太郎会長が、1978年に傘寿を迎えられ、また同年は旧超硬工具協会創立30周年にあたることを記念して、協会に多額の寄付をいただきました。ご寄贈者のご意向に則り、その有効活用を目的として生悦住基金が設けられました。本賞はこの基金をもとに①会員で草の根的に功労のあった方②会員内外を問わず業界発展に貢献された方を顕彰するために制定された表彰制度です。

令和4 (2022) 年度生悦住賞受賞者：2名

◎伊藤 章二氏 元 東芝タンガロイ株式会社
(現 株式会社 タンガロイ)

功績の概要

伊藤氏は、1983年6月、旧超硬工具協会技術委員会内に設置された特許関係を専門とする特許小委員会に創設メンバーとして参加。1986年から特許専門委員会委員長に就任された。会社におかれても特許部門一筋に勤められ、協会においては特許部門の重要性を協会幹部に説き、技術委員会からの独立、専門委員会から特許委員会へのさらなる昇格などに尽力された。特に、1990年に制作から完成まで4年余りを要した『特許・実用新案 明細書の書き方』をまとめられた。その内容は超硬工具の素材や形状、鋳山土木工具の分野まで幅広く、その年の11月会員企業を集め、明細書の書き方の講習会を開催し、協会関係者の特許出願の一助とされた。1993年6月協会の5番目の委員会として新設された特許委員会では初代委員長として、特許庁と協会のつながり



伊藤氏

を重視、年1回特許庁の審査官(工作機械と金属部門を1年ごとに交互に)を招いた講演会の実施、審判判例の事例研究を多数取り入れるなど、その後の特許委員会の基盤と活動を方向づけた。

◎田島 有紀子氏 元 株式会社 不二越

功績の概要

田島氏は、1990年の旧日本工具工業会機関紙Myツールの創刊時より、Myツール編集委員会の主幹として編集・企画に携わり、旧超硬工具協会との統合による最終号まで編集委員会のリーダーとして、工業会内外へ情報発信を主導された。所属企業での広告宣伝業務を活かし、会員企業の海外派遣者の苦労や経験談など会員各社でも参考となる内容を常に心がけ、新鮮味のある紙面づくりに心を砕かれた。さらに、長年にわたる取材経験を活かし、2007年から20年には日本工具工業会60周年記念誌編集委員会の取りまとめリーダーとして最初から制作に携わり、会員企業から愛される記念誌を刊行した。

また、工業会の主要行事には取材と同時に様々な場面で側面から事務局業務をバックアップされるなど、工業会役員から各委員会参加者まで幅広く交友され、工業会の基本理念である全員参加に大きく貢献された。



田島氏

新庄賞

故新庄鷹義氏が55年在任された富士ダイス(株)社長職から会長職へ昇格され、併せて米寿の慶事にあたり、同氏からの多額のご寄付をもとに新庄基金が創設されました。受賞資格者は正会員企業の“陰徳の士”的立場にある人(一般には目立たないながら、会社にとって非常に有用なことを実践している人、ボランティアを含む)で、所属企業からご趣旨にそった方の推薦を受け表彰する制度です。

令和4 (2022) 年度新庄(陰徳の士) 賞受賞者：11社11名

- | | |
|-----------------|--------|
| ◎ MMCリョウテック株式会社 | 岸 光昭氏 |
| ◎ オーエスジー株式会社 | 佐野 貴之氏 |
| ◎ 兼房株式会社 | 保浦 正幹氏 |
| ◎ 株式会社 共立合金製作所 | 濱崎 正夫氏 |
| ◎ 株式会社 田野井製作所 | 加藤 忠夫氏 |
| ◎ 日進工具株式会社 | 荒 光毅氏 |
| ◎ 日本特殊陶業株式会社 | 油井 里江氏 |

- ◎ 富士精工株式会社
- ◎ 富士ダイス株式会社
- ◎ マパール株式会社
- ◎ 三菱マテリアル株式会社

- 石垣 充宏氏
- 前田 久則氏
- 小澤 眞二氏
- 大森 弘氏



受賞者

JIMTOF2022 日本機械工具工業会出展者(71社) 西1ホール配置図

2022年11月8日～13日に東京ビッグサイト(東京国際展示場)にて開催される、JIMTOF2022(第31回日本国際工作機械見本市)日本機械工具工業会会員出展者71社の小間配置が下記の通り決定いたしましたので、ご報告いたします。



執筆の依頼を受けたが、自慢できる経験も趣味も無く、身近な事でもいいので何でも気軽に…という言葉に甘えて、じゃあ家にいる猫の話でもいいですかと編集委員の方に聞いたところ、個人的に大変興味がある話で楽しみ!とのお返事。自ら大きくハードルを上げてしまう事になりました。兎にも角にも、書き始めます。

私の家には妻と息子、6匹の猫がいて、猫は全て雑種の拾い猫。入居順で、カン、ハナ、チビ、クロ、コタ、マル。この時点で我が家の猫の数と名前が明確になる。トラという猫も以前いて、最大は7匹、いや、友人に引き取ってもらったのも入れると瞬間的にではあるが8匹だ。

最初は妻の仕事先のビニールハウスにいた2匹の迷い子猫を家で飼いだしたのがきっかけ。さらにその後妻の友人から電話が入り、また2匹子猫が見つかったという事で引き取り、最後はとうとう、家の猫の鳴き声に呼び寄せられ庭まで入ってきた子猫が2匹。全ての猫は、病気が無いか検査、

去勢手術を施し、正式に我が家の一員になる。食事やトイレの片づけは全て妻の仕事。食事や、トイレの砂処理、調子が悪くなれば病院、さらには暑さ、寒さに対する弱さから冷房、暖房は人以上。結構費用負担もあると思うが、その経費を聞くと誤解を受けそうなので、聞けずじまいでいる。

6匹6色、全ての猫が個性を持つ。一応リーダーの位置付けである茶トラのカンはマイペース、リーダーシップには欠ける。三毛猫のハナは3年以上経つのに、私を見かけるだけで一目散に逃げ、隠れる、1m接近が限界。グレーのチビは私に最もなつく、トイレに行けば扉を開けて入って、足にすり寄り、寒い時期は膝に乗り暖を取る。黒猫のクロは存在感が無く、たまに見かけるがそばに近寄れば逃げる。ただ、この記事に上げる写真撮影を機に、撫ぜれば、ゴロゴロとご機嫌に喉を鳴らすまでの

友好関係に至る。サビ猫(グブル)のコタは食い意地旺盛、以前は酒のつまみを狙い、親密な関係を築いていたが、妻から禁止令が発令され、現在は疎遠な関係。最後、コタと兄弟のマルはコタより僅かに細顔で見分けにくい、逃げるタイミングでだいたい察しがつく。全ての猫が、世話をする妻に対しても個性は同様なものの、親近度は100倍以上違う。時々勘違いしたのか、突然私の膝の上に乗ってきたり、足に体を摺り寄せたりする時があり、うれしい思いになるが、瞬間で猫たちは我に返り一目散に逃げていく。

私の住む田舎町では、猫を放し飼いする家庭もあるが、感染等为了避免る為に、家の中で飼う。今となっては、猫たちの放し飼いはあり得ない。玄関には脱走防止用のガードを設ける。時には脱走もあったが、食事時には戻ってくる。そうそう、今回を機に改めて思ったが、猫は匂いがしない(グブル:野性時代に待ち伏せ型の狩りをしてきた歴史から体臭がほとんどなく、猫自身もあまりにおいをつけないように本能的に行動する為)ので風呂も入れなくていいし、散歩も不要。その点では犬より楽かと思うが、爪とぎや抜け毛で部屋が傷む、汚れる。何と言ってもなつきが悪い。

猫を飼い始めてから、6,7年経つだろうか。それ以降妻は泊まりでの外出は無い。思えば、妻にとって私や息子の男たち相手は何の安らぎも無く、猫に癒しを求めているのだと思う。猫への会話頻度は私と比較して、これも100倍以上違う。知り合いから、猫の数は夫婦間の亀裂の数だと言われ反論できずにいて、私自身はこれ以上猫が増えない事を祈っている。最後、犬と猫のどちらが好きかだが、1匹同士であれば断然犬。1匹と6匹だと猫かもしれない。これまで通り世話をしない前提で。

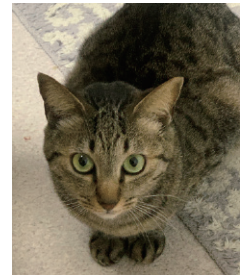
(オーエスジー(株) 執行役員 製造本部副本部長
兼第1製造部部长および品質保証部担当)



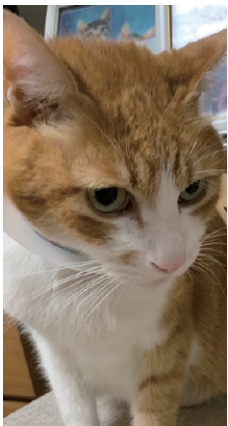
クロ



コタ



マル



カン



ハナ



チビ

◆会社紹介

【沿革】

(株)トーカロイTGK (95名) は、愛知県瀬戸市に本社工場を構える超硬合金素材と精密金型部品の総合メーカーで、1964年の設立から今年で創業58周年を迎えました。2012年に隣地へ第二工場棟を竣工して丁度10年を迎えた2022年4月より、グループ再編に伴い社名を東海合金工業(株)から(株)トーカロイTGKへ変更し、新たな代表に松本秀彦、会長に松本優造がそれぞれ就任いたしました。

尾張旭市で創業後、1983年に現在の住所へ全面移転を遂げて以降、瀬戸市を代表する主要企業として着実に成長を遂げて参りました。豊田市周辺に多くの自動車部品関連顧客を有する当社は、主に切削工具向け超硬素材と各種精密金型部品を中心とした多品種少量個別受注生産により、「ニッチなものづくり」に特化した製品作りで、多くのお客様にご愛顧いただいております。



本社工場 (左：生産棟と右：管理棟)

【グループ】

当社は2022年4月より、(株)トーカロイホールディングス(17名、本社：岡山県津山市)のグループ企業として新たなスタートを切りました。営業窓口の(株)トーカロイ(29名、本社：愛知県瀬戸市)、超硬合金素材、精密金型およびその部品、装置部品、各種工業用スプレーノズルの(株)トーカロイMTG(157名、本社：岡山県津山市)の計4社からなる当グループは関西圏と中部圏を中心とした質の高い「提案型サービス」を更に進化させるとともに、「一貫生産だからできることがあります」を合い言葉に、お客様から選んでいただける総合メーカーとして更なる飛躍を遂げて参ります。

【ロケーション】

当社は、南接する長久手市にほど近い瀬戸市南部の工業エリアに位置し、小高い丘陵地にある関係で北側に瀬戸市街を一望できる絶好のロケーションが自慢です。秋冬の好



従業員第2駐車場より瀬戸市街を望む

天日は御嶽山(長野県)や伊吹山(滋賀県)も望むことが出来る反面、冬の荒天時は北からの冷たい風雪に耐え忍んでおります。

◆ご当地紹介

瀬戸市は愛知県西部、名古屋市の北東部に位置し、岐阜県多治見市をはじめ、豊田市、長久手市、春日井市等に隣接する人口約12万人の「自然と歴史が融合する街」で、市政施行92年を迎えました。

焼きものの代名詞として広く使われる「せともの」、その発祥地である愛知県瀬戸市では、1000年ほど前(平安時代後期)から陶器が作られるようになり、有田焼(佐賀)、備前焼(岡山)、信楽焼(滋賀)などと並んで国内有数の産地として有名です。

歴史的に瀬戸焼の発展に大きな役割を果たした人物が二人おられます。一人は鎌倉時代に活躍した「加藤四郎左衛門景正」で、今に続く瀬戸焼の創始者として親しみを込めて「藤四郎」と呼ばれ、釉薬を施した本格的な陶器作りから「瀬戸焼」を始め、文字通り「陶祖」と称されています。

もう一人は、江戸時代に衰退期に入った瀬戸焼を救った「加藤民吉」で、有田焼から磁器技法を習得して陶器に加えた「染付磁器」で瀬戸に再び活気を取り戻し、こちらは「磁祖」と称されています。

近年では、2005年に瀬戸市と長久手市の2会場で半年間に渡って開催された「愛知万博」で、目標の1,500万人を大きく上回る2,200万人の入場者を記録しました。今年2022年11月には愛・地球博記念公園内に「ジブリパーク」が開業する予定で、新たな期待が高まります。

また、数年来の快進撃が続くプロ棋士・藤井聡太さんの地元として多くのメディアでも取り上げられ、今年2月には王将を奪取して19歳6カ月の史上最年少で五冠を達成されたことから、地元瀬戸市の「藤井聡太フィーバー」は、ますます過熱する一方です。



瀬戸焼「古瀬戸」、定光寺の紅葉、磁祖・加藤民吉像、せともの祭



瀬戸市の地理、瀬戸市役所の藤井氏五冠懸垂幕

機械工具 2020、2021 年度生産額実績及び 2022 年度生産額見通し

(単位：百万円)

品 目	2020年度実績		2021年度実績						2022年度見通し(アンケートに基づく)					
	上期実績	下期実績	上期実績	上期 前年度比	下期実績	下期 前年度比	年度実績	前年度比	増減	上期生産額 見通し	増減	下期生産額 見通し	年度見通し	前年度比
ドリル	6,190	6,642	8,144	131.6%	8,744	131.6%	16,888	131.6%	5.6%	8,600	3.2%	9,023	17,624	104.4%
エンドミル	2,405	1,914	2,323	96.6%	2,478	129.4%	4,801	111.1%	6.8%	2,481	4.1%	2,580	5,061	105.4%
カッタ	453	424	395	87.1%	415	98.0%	810	92.3%	-2.9%	383	-2.5%	405	788	97.3%
ギヤカッタ	2,949	3,789	4,162	141.1%	4,339	114.5%	8,501	126.2%	-7.0%	3,871	-6.3%	4,065	7,936	93.4%
ブローチ	4,124	4,309	4,661	113.0%	4,690	108.8%	9,351	110.9%	4.0%	4,847	2.0%	4,784	9,631	103.0%
ねじ加工工具	12,839	14,679	17,788	138.5%	18,866	128.5%	36,654	133.2%	4.5%	18,588	4.6%	19,734	38,322	104.6%
バイト	142	147	163	115.0%	179	122.1%	343	118.6%	5.0%	171	7.5%	193	364	106.3%
リーマ	612	726	784	128.0%	775	106.7%	1,559	116.5%	5.3%	825	5.2%	815	1,640	105.3%
鋸刃カッタ	569	646	722	126.9%	742	114.8%	1,464	120.5%	8.0%	779	-2.0%	727	1,506	102.9%
耐摩工具	868	1,026	1,123	129.4%	1,125	109.6%	2,247	118.7%	0.0%	1,123	4.5%	1,175	2,298	102.3%
特殊鋼工具計	31,153	34,301	40,264	129.2%	42,353	123.5%	82,616	126.2%	-	41,669	-	43,502	85,171	103.1%
ドリル	15,561	17,477	20,398	131.1%	22,221	127.1%	42,619	129.0%	7.5%	21,928	5.6%	23,466	45,393	105.5%
エンドミル	15,815	18,862	21,530	136.1%	22,217	117.8%	43,747	126.2%	2.8%	22,133	3.3%	22,950	45,083	103.1%
カッタ	2,045	2,500	3,025	147.9%	3,245	129.8%	6,270	137.9%	3.1%	3,118	2.6%	3,336	6,455	102.9%
ねじ加工工具	1,065	1,467	1,801	169.1%	2,004	136.7%	3,805	150.3%	5.3%	1,897	6.7%	2,138	4,035	106.0%
バイト	3,716	4,270	5,113	137.6%	5,706	133.6%	10,819	135.5%	4.9%	5,364	5.8%	6,037	11,400	105.4%
リーマ	1,206	1,345	1,617	134.1%	1,478	109.9%	3,095	121.3%	4.0%	1,682	4.2%	1,540	3,222	104.1%
鋸刃カッタ	243	372	364	149.4%	428	115.3%	792	128.8%	9.5%	398	8.0%	463	861	108.7%
インサート	57,755	71,678	83,267	144.2%	87,220	121.7%	170,487	131.7%	3.7%	86,348	5.2%	76,120	162,468	95.3%
耐摩工具	14,793	16,332	17,628	119.2%	17,750	108.7%	35,378	113.7%	4.7%	18,456	3.7%	18,407	36,863	104.2%
鋳山土木工具	3,922	3,757	4,402	112.2%	4,073	108.4%	8,476	110.4%	6.4%	4,684	5.6%	4,302	8,985	106.0%
超硬工具計	116,121	138,058	159,144	137.0%	166,344	120.5%	325,488	128.1%	-	166,007	-	158,759	324,766	99.8%
ドリル	449	537	577	128.5%	560	104.3%	1,138	115.3%	1.0%	583	0.6%	564	1,147	100.8%
エンドミル	567	800	755	133.1%	729	91.2%	1,484	108.6%	1.7%	768	-4.3%	698	1,466	98.8%
カッタ	283	315	367	129.6%	312	99.0%	678	113.5%	2.0%	374	4.4%	325	699	103.1%
インサート	6,911	10,824	12,100	175.1%	11,897	109.9%	23,997	135.3%	0.1%	12,112	-2.2%	11,635	23,747	99.0%
ダイヤ・CBN計	8,210	12,475	13,798	168.1%	13,498	108.2%	27,297	132.0%	-	13,836	-	13,222	27,059	99.1%
ドリル	22,201	24,655	29,119	131.2%	31,525	127.9%	60,645	129.4%	14.1%	31,111	9.4%	33,053	64,164	105.8%
エンドミル	18,787	21,576	24,608	131.0%	25,424	117.8%	50,032	124.0%	11.3%	25,381	3.1%	26,228	51,609	103.2%
カッタ	2,781	3,239	3,786	136.1%	3,972	122.6%	7,758	128.9%	2.2%	3,876	4.7%	4,067	7,942	102.4%
ギヤカッタ	2,949	3,789	4,162	141.1%	4,339	114.5%	8,501	126.2%	-7.0%	3,871	-6.3%	4,065	7,936	93.4%
ブローチ	4,124	4,309	4,661	113.0%	4,690	108.8%	9,351	110.9%	4.0%	4,847	2.0%	4,784	9,631	103.0%
ねじ加工工具	13,904	16,145	19,589	140.9%	20,871	129.3%	40,459	134.6%	9.8%	20,485	11.3%	21,873	42,358	104.7%
バイト	3,858	4,417	5,276	136.8%	5,885	133.2%	11,162	134.9%	9.9%	5,535	13.3%	6,230	11,765	105.4%
リーマ	1,818	2,071	2,401	132.0%	2,253	108.8%	4,654	119.7%	9.3%	2,507	9.4%	2,356	4,862	104.5%
鋸刃カッタ	812	1,018	1,085	133.6%	1,170	115.0%	2,256	123.2%	17.5%	1,178	6.0%	1,190	2,367	105.0%
インサート	64,665	82,502	95,367	147.5%	99,117	120.1%	194,484	132.2%	3.8%	98,460	3.0%	87,755	186,215	95.7%
その他工具	6,527	7,330	8,108	124.2%	8,298	113.2%	16,407	118.4%	2.8%	8,335	1.4%	8,414	16,750	102.1%
ボディ関係	7,333	7,733	9,506	129.6%	9,786	126.5%	19,292	128.1%	25.5%	11,930	16.5%	11,400	23,331	120.9%
切削工具小計	149,761	178,783	207,668	138.7%	217,331	121.6%	424,999	129.4%	-	217,516	-	211,414	428,930	100.9%
耐摩工具	15,660	17,358	18,750	119.7%	18,875	108.7%	37,625	114.0%	4.7%	19,579	8.2%	19,583	39,161	104.1%
鋳山土木工具	3,922	3,757	4,402	112.2%	4,073	108.4%	8,476	110.4%	6.4%	4,684	5.6%	4,302	8,985	106.0%
総合計	169,344	199,897	230,821	136.3%	240,279	120.2%	471,100	127.6%	-	241,778	-	235,298	477,076	101.3%

(出典：日本機械工具工業会 会員統計)

新会員代表者紹介

大洋ツール株式会社の会員代表者が交代されました。
 新会員代表者 代表取締役社長 高萩 俊夫様 (2月付)

日本特殊陶業株式会社の会員代表者が交代されました。
 新会員代表者 執行役員 マシニングテクノロジーカンパニープレジデント 杉浦 哲弥様 (4月1日付)

なお、前会員代表者の太田雅和様は理事でしたので、理事も退任されました。
 杉浦様の理事就任については今年4月の理事会で承認をいただきました。

訃報

安部川 洋司 様

株式会社 栄工舎 代表取締役

2022年6月10日ご逝去(享年72歳)
 葬儀等は近親者のみで執り行われました
 謹んでお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈りいたします

編集後記

会員の皆様には日頃からJTA Journalの記事作成にご協力いただき、ありがとうございます。

私事ではございますが、このたび機関紙編集委員を交代することとなり、編集に携わるのは今号が最後となりました。振り返ると委員会に参加させていただいてから早7年が過ぎており、月日が経つ早さに驚きます。直近の2年間はコロナ

禍の影響でオンライン開催となっていた編集委員会も今年度からリアルとの併催となり、委員の皆様とも久方ぶりにお会いすることができ、リアル/オンラインそれぞれに良い面があるなど実感いたしました。編集委員会では普段の業務では関わることのない世界を垣間見る機会をいただき、非常に勉強になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。(M.O)